

第2号議案

特定非営利活動法人 高次脳機能障害 サポートネットひろしま

令和3年度 事業計画

1、事業実施の方針

交通事故や病気によって脳に損傷を負い、後遺症として高次脳機能障害を持った者及び家族に対して県下4カ所で相談会を実施し、相談者に適切な情報を提供する。また、医療リハビリテーション後の社会での自立をめざし、障害者総合支援法に基づいた福祉サービス事業を実施し、高次脳機能障害者が安定した働きができるよう、生活を含めた支援を行う。

さらに広報としては、地域拠点センターとの繋がりを深めるための活動を実施していきたい。

2、事業内容

特定非営利活動に係る事業

(1) 高次脳機能障害者およびその家族への支援に関する事業

(相談支援事業)

予算：818,000円

場所・日時	内容
サポートネットひろしま事務所内 通年月曜日～金曜日 10時～17時	当事者、家族、関係者からの電話相談 および 予約での個別相談
廿日市総合福祉センター 山崎みんなのあいプラザ 第3木曜日 10時～12時	廿日市地区家族相談会、月1回 当事者と家族の相談会 個別相談は午後（要予約）
広島市中区地域福祉センター 第2火曜日 10時～12時 14時～16時	広島市高次脳機能障害支援事業、月1回（広島市委託事業） 家族の交流と生活相談（障害理解のためのグループセッション） 個別相談会（要予約）
広島県立障害者リハビリテーションセンター内 第1火曜日 13時30分 ～15時30分	東広島地区家族交流相談会
三原 サンシープラザ 第2金曜日 10時～12時	備後地区家族交流相談会
従事者	3～5名 (言語聴覚士・社会福祉士・法律事務所助手・ピアソーター)
対象者	当事者とその家族

(2) 障害者総合支援法に基いた福祉サービスに関する事業

働きたいという気持ちの高次脳機能障害者を実現に向けてサポートする

(クラブハウス・シェイキングハンズ就労移行支援チャレンジ)

予算 21,197,300 円

内 容	<p>自分の障害と向き合い、就労に向けての準備をする場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活のリズムを整える (基本的生活リズムやマナー、人とのコミュニケーションを習得する) ・軽作業や脳トレ・グループワーク (記憶や注意障害の気づきと対処法に取り組む) ・自分の障害と向き合い、自分に合った働き方を考える (同じ障害を持つ人との交流を通して、障害への気づきや理解を深める)
事業日程	通年月曜日～金曜日 10:00～15:00
場 所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者人数	3名
受益対象者	クラブハウス・シェイキングハンズ通所者 (定員 10名)

(クラブハウス・シェイキングハンズ就労継続支援B型ワークステージ)

内 容	<p>自分のペースで就職活動に取り組む場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に合ったペースで「働く」を目指す (利用期間の制限がないので、自分のペースで就職活動をする) ・作業に取り組み、自分に合った働き方を探る (障害特性に見合った仕事を見つけ出す) ・一人一人の状況に合わせたサポート (作業・グループワーク・履歴書作成、企業見学、実習など個人の状況に合わせ支援する)
事業日程	通年月曜日～金曜日 10:00～15:00
場 所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者人数	3名
受益対象者	クラブハウス・シェイキングハンズ通所者 (定員 10名)

就労支援事業 (当事者工賃作業)

予算 1,800,000 円

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ベルテガーデン清掃委託 ・広島市就労支援センター内職 ・石鹼作業 ・みかん受注、発送手続き ・シート剥がし ・タグ付け作業
-----	---

(3) 高次脳機能障害の一般社会への啓発活動に関する事業

予算 398,000 円

令和3年10月2日（土） 日本高次脳機能障害友の会 2021Webシンポジウム リモートにて開催 参加者 500人予定 広島市との共催研修予定	高次脳機能障害支援法に向けて、リモートでの全国開催予定 ・「高次脳機能障害の支援体制づくりとこれから」 講師：深津玲子氏 （国リハ高次脳情報支援センター長） ・「医療の現状と展望」 講師：渡邊修氏 （東京慈恵医科大学付属第三病院教授） ・「支援機関の現状と展望」 講師：鈴木智敦 （名古屋リハビリテーションセンター副センター長） ・「患者・家族の現状と展望」 講師：片岡保憲 （日本高次脳機能障害友の会理事長） リモート開催または少人数での支援者向け研修会
その他の啓発	冊子作成 ホームページでの情報発信